

平成 29 年度 第 9 回理事会

場 所：富山市民病院

日 時：平成 30 年 2 月 5 日(月)19:00～

参加者：田村、松岡、丸本、島津、橋爪、吉波、高林、森、桐山、古澤

<報告事項>

1. 地域包括ケアシステムに係わる人材育成研修会－1月20日 サンシップとやま：参加者79名。アンケート結果では概ね好評の結果であった。
2. 47委員会－1月27,28日 島津事務局長、渡邊氏（発達障害部長 平成29年度作業療法モデル事業報告）出席
3. 富山県社会福祉審議会「新たな富山県民福祉基本計画（新計画）」策定に係わる説明会－2月16日 県民会館 吉波理事出席予定
4. 2018年度県学会の体制－開催時期：3月17日(日) 学会長：赤尾氏（富山赤十字訪問看護ステーション）運営委員長：桐山氏（県リハ病院）庶務：谷野呉山病院 会計：経塚氏（県リハ病院）抄録・HP：角畑氏（富山リハ医療福祉大学校）会場：護摩堂氏（済生会富山病院）受付・接待：前田氏（富山協立病院）
5. 運転と作業療法委員会 2月3日 第1回委員会開催 次年度の活動検討 委員会メンバー：桐山、佐々井氏（県リハ病院）丁子氏（富山リハ医療福祉大学校）吉村氏（富山西リハ病院）高橋氏（南砺市民病院）作田氏（砺波総合病院）中山氏（氷見市民病院）次年度の活動：アンケートを実施し、県内のニーズをまとめる。また、県内でのネットワーク作りを中心に、事業を展開してゆく予定。
6. 平成29年度富山県DPAT研修－2月1日 県民会館：高林理事、磯部氏参加。

<検討事項>

1. 各部会次年度予算案の検討を実施。周知事項として以下が挙げられた。
 - ・次年度予算案の立案に際し、福利厚生費や交通費は本年度の実績を踏まえ算出する。
 - ・部会の各事業で発生する謝礼については、図書カードやクオカードなどの金券も現金として扱われるので、その場合は源泉徴収の対象となる。
 - ・予算案の合計金額は財務処理上の便宜を図るため、できる限り端数が出ないように調整する。
2. 富山医療福祉専門学校からの事務局使用料納入の依頼があり、次年度より5,000円/月の使用料を支払うこととする。
3. 来年度の体制について
 - ・事業局 制度対策部 各委員会の名称を以下の通り変更する。
保険委員会／認知症作業療法委員会／福祉用具相談支援事業委員会／災害リハビリテーション委員会
／訪問リハビリテーション委員会（訪問リハビリテーション研修会は在宅生活を考えるリハビリテーション研修会に名称変更）／地域アドバイザー委員会／運転と作業療法委員会
 - ・教育局は生涯教育部とMTDLP研修部の2つの部に分けそれぞれの事業を展開する。
4. パナソニックエイジフリー(株)より、高齢者・障害者向けTVリモコン『レッツ・リモコン』の提供募集あり。当士会で応募し、提供が受けられれば、学会・研修会での紹介や病院・施設でのモニター使用

を行なう。